



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 株式会社 エコミック  
コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札  
TEL 011-206-1103

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	354	4.4	50		37		32	
2023年3月期第1四半期	339	33.0	45		43		32	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 24百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 17百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	8.53	
2023年3月期第1四半期	8.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	1,547	1,244	80.4	326.24
2023年3月期	1,717	1,299	75.7	340.58

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,244百万円 2023年3月期 1,299百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		8.00	8.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	696	2.9	165		158		122		32.00
通期	2,393	8.0	225	10.4	237	7.6	175	2.8	45.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	3,815,600 株	2023年3月期	3,815,600 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	60 株	2023年3月期	60 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	3,815,540 株	2023年3月期1Q	3,797,540 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 311「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の緩やかな改善や個人消費の持ち直しなどにより、景気が緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当業界におきましては、労働力人口が減少した一方で景気の回復に伴い就業者数は増加し、雇用・所得環境が改善する下で、企業の人材不足や労働環境の変化、SDGsへの取組み等を背景に、企業の効率化、省力化への動向が続き、事業再構築やBCP(事業継続計画)の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありました。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対しバックヤード業務に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。また、DXやHRテックを用いた生産性向上ニーズへの対応を強化してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は354,093千円(前年同四半期比4.4%増)、営業損失は50,891千円(前年同四半期は営業損失45,814千円)、経常損失は37,732千円(前年同四半期は経常損失43,098千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は32,536千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32,526千円)となりました。

なお、当社グループでは、BPO事業について給与計算関連サービスの一つとして年末調整関連業務を提供しており、下半期の売上高及び営業利益が上半期と比較して多くなる傾向にあります。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (BPO事業)

BPO事業については、前連結会計年度に引き続き、既存顧客との関係強化、積極的な営業活動及びサービス品質の向上を含む顧客満足度向上に向けた施策に取り組んでまいりました。前年同四半期に比べ、給与計算処理人数が増加した一方、大型案件の受注が前年同四半期に比べて少なかった結果、BPO事業における売上高は318,250千円(前年同四半期比0.8%増)、営業損失は52,205千円(前年同四半期比は営業損失40,491千円)となりました。

#### (ソフトウェア・ハードウェア開発事業)

ソフトウェア・ハードウェア開発事業については、株式会社ビズライト・テクノロジーの主力事業としてAI及びIoTに関連するハードウェア製品、ファームウェア開発、そして受託ソフトウェア開発等を行っております。当第1四半期累計期間においては、受託システム開発及びシステム保守が売上高の大半を占めており、ソフトウェア・ハードウェア開発事業における売上高は35,843千円(前年同四半期比53.2%増)、営業利益は2,338千円(前年同四半期比25.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,119,785千円となり、前連結会計年度末に比べ151,542千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が145,147千円減少したことによるものであります。固定資産は428,165千円となり、前連結会計年度末に比べ18,094千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が10,361千円増加した一方、ソフトウェアが12,255千円並びに器具及び備品が6,853千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,547,951千円となり、前連結会計年度末に比べ169,637千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は175,513千円となり、前連結会計年度末に比べ102,335千円減少いたしました。これは主に未払金が31,395千円減少したこと及びその他の流動負債が90,971千円減少したことによるものであります。固定負債は127,662千円となり、前連結会計年度末に比べ12,588千円減少いたしました。これは主に長期借入金が8,482千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は303,175千円となり、前連結会計年度末に比べ114,923千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,244,776千円となり、前連結会計年度末に比べ54,713千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が63,061千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.4%(前連結会計年度末は75.7%)になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日に発表いたしました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,049,289	904,142
受取手形及び売掛金	166,408	168,566
製品	5,993	8,104
仕掛品	446	752
原材料	3,886	2,007
その他	45,385	36,301
貸倒引当金	△82	△89
流動資産合計	1,271,328	1,119,785
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	81,919	75,065
その他 (純額)	9,463	9,062
有形固定資産合計	91,382	84,128
無形固定資産		
ソフトウェア	205,560	193,304
のれん	63,970	60,052
その他	4,694	6,333
無形固定資産合計	274,225	259,690
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,384	18,745
敷金及び保証金	36,818	36,867
その他	35,450	28,733
投資その他の資産合計	80,652	84,346
固定資産合計	446,260	428,165
資産合計	1,717,589	1,547,951
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,113	24,139
1年内返済予定の長期借入金	33,930	33,930
未払金	42,863	11,468
未払法人税等	6,508	14,033
賞与引当金	—	10,481
その他	172,433	81,461
流動負債合計	277,848	175,513
固定負債		
長期借入金	132,223	123,741
繰延税金負債	5,288	1,181
その他	2,738	2,740
固定負債合計	140,250	127,662
負債合計	418,099	303,175

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,501	364,501
資本剰余金	199,416	199,416
利益剰余金	703,055	639,993
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,266,937	1,203,876
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32,552	40,899
その他の包括利益累計額合計	32,552	40,899
純資産合計	1,299,489	1,244,776
負債純資産合計	1,717,589	1,547,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	339,110	354,093
売上原価	256,797	281,405
売上総利益	82,312	72,688
販売費及び一般管理費	128,127	123,579
営業損失(△)	△45,814	△50,891
営業外収益		
受取利息	187	192
助成金収入	1,523	6,142
為替差益	650	—
保険解約返戻金	—	6,437
その他	623	2,321
営業外収益合計	2,985	15,093
営業外費用		
支払利息	236	287
為替差損	—	1,646
その他	33	—
営業外費用合計	269	1,934
経常損失(△)	△43,098	△37,732
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,098	△37,732
法人税等	△10,572	△5,195
四半期純損失(△)	△32,526	△32,536
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,526	△32,536

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△32,526	△32,536
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,644	8,347
その他の包括利益合計	14,644	8,347
四半期包括利益	△17,882	△24,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,882	△24,189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。